

歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法の
歯科疾患実態調査の代替の可能性の検討
－質問項目と歯根面う蝕について－

研究分担者 石塚洋一 東京歯科大学 衛生学講座 准教授

研究分担者 福田英輝 国立保健医療科学院 統括研究官

研究代表者 田口円裕 東京歯科大学 歯科医療政策学 教授

研究要旨

歯科口腔保健施策の推進のため、国や地方自治体は、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」等において、指標やその達成状況を評価するための目標値を設定し、これらの指標に関する目標値の設定や達成状況の評価の多くに、歯科疾患実態調査の結果が使用されている。しかしながら、パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止された場合の代替調査は確立されておらず、そうした事態への代替調査等での対応が早急に検討されるべきである。本研究では、歯科疾患実態調査に代わる実態把握として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法の可能性について、質問項目と歯根面う蝕（未処置歯）の評価を中心に検討した。全国8都道府県40の合計320の歯科診療所にて、9,600名の患者を研究対象とし、歯科保健医療に対する意識及び口腔内状況等の調査を実施し、6,249名（回答率65%）の回答を得て、最終的に20歳以上の男女6,198名を解析対象とした。歯や口の状態について気になるところがある者は58.9%、毎日歯をみがく者は98.7%、歯間部を清掃している者は60.4%、過去1年間に歯科検診を受けた者は71.4%、過去1年間にフッ化物塗布の経験がある者は16.4%、フッ化物洗口の経験がある者は2.6%、フッ化物配合歯磨剤の使用の経験がある者は43.3%、矯正歯科治療の経験がある者は8.2%、歯科医療機関の来院の主な目的は、「歯科治療」が53.0%、「定期健診」が45.5%、「歯科健康診査」が1.5%であった。歯根面う蝕（未処置歯）を持つ者の割合は、高齢になるにつれ増加しており、60~64歳の年齢階級以上では5%を超えていた。年齢調整した歯根面う蝕（未処置歯）を持つ者の割合は、30歳以上で5.0%、60歳以上で7.2%であった。質問項目と歯根面う蝕（未処置歯）の評価の観点からは、パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。

A. 研究目的

歯科口腔保健施策の推進のため、国や地方自治体は、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」等において、指標やその達成状況を評価するための目標値を設定し、これらの

指標に関する目標値の設定や達成状況の評価の多くに、歯科疾患実態調査の結果が使用されている。歯科疾患実態調査は、5年に1度、国民健康・栄養調査と同時に実施し、全

国が選定した地区において、歯科医師が口腔内診査を行うことによりう蝕や歯周病等の調査を行っており、日本の歯科疾患の現状を把握可能な唯一の政府の統計調査である。令和3年度に本調査が実施される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止され、令和4年度に延期された。

国が示している基本的事項は10年計画で実施されており、令和4年度は最終評価及び次期の計画策定の議論が行われたが、令和3年度の歯科疾患実態調査の中止により現状値が得られなかった指標は各種研究データの使用が検討されたが、調査設計の違い等により歯科疾患実態調査の結果との比較ができず、多くの指標が評価困難とされた。つまり、現状ではパンデミック等の状況における歯科疾患実態調査の中止は、歯科口腔保健施策への影響が甚大であり、そうした事態への代替調査等での対応が早急に検討されるべきである。

そこで本研究では、歯科疾患実態調査に代わる実態把握として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法の可能性について、質問項目と歯根面う蝕（未処置歯）の評価を中心に検討することとした。

B. 研究方法

歯科疾患実態調査は、通常、歯科医療機関以外の場所を会場として対象者を集めて調査を行っているが、本研究では、パンデミック下でも継続的に実施可能な調査方法として、歯科医療機関を受診した患者を対象に調査を実施した。

調査は、1歯科診療所あたり、調査期間中に20歳以上の7つの年齢区分（10歳刻みごとに79歳までと80歳以上）ごとに最初に受診された患者から順に最大4名まで（6区分）と80歳以上6名までの合計最大30名までを対象に行った。対象の歯科診療所は、全国の8都道府県（北海道・岩手県・東京都・岐阜

県・京都府・広島県・高知県・長崎県）の県庁所在地とそれ以外の地域（人口が概ね3,000人～1万人の地域）において、調査協力が得られる歯科診療所とした。各都道府県40の合計320の歯科診療所にて、合計9,600名の患者を研究対象とし、歯科保健医療に対する意識及び口腔内状況等の調査を実施した。

調査票の送付と回収は、調査を実施した8都道府県の都道府県歯科医師会及び郡市区歯科医師会の協力を得て実施した。調査票の内容は歯科疾患実態調査に準拠し、基本的事項の最終評価を補足するためのデータや次期計画策定の際に活用可能なデータを含んだ。調査期間は、令和5年11月16日から11月30日までとし、調査期間中は、電話または電子メールでの問い合わせの対応を行った。解析では、調査票（図1）の質問項目と次期基本的事項における指標案¹⁾に挙げられる項目の中で、歯根面う蝕（未処置歯）の状況を評価するため、各割合を算出した。年齢調整の際は、平成27年平滑化人口を基準人口²⁾に用いた。

C. 研究結果

調査への回答は6,249名（回答率65%）から得られ、調査対象外の20歳未満の回答16名と性別や年齢に欠損のある35名を除いた6,198名（男性2,558名、女性3,640名）を解析対象とした（表1）。

1. 歯や口の状態

歯や口の状態について気になるところがないと回答した者は全体の41.1%であった。歯の症状で、「痛い」と回答した者の割合は20歳以上60歳未満の年齢階級で高く、「冷たいものや熱いものがしみる」と回答した者の割合は20歳以上70歳未満の年齢階級で高かった。歯ぐきの症状で、「痛い」と回答した者の割合は85歳以上95歳未満の年齢階級で高く、「はれている」と回

調査票
(厚生労働省「令和4年度厚生労働科学特別研究事業」)

(患者様記入欄) 対象者
番号

都道府県 市区町村 性別 **1. 男性** **2. 女性** 年齢 歳

私は本事業のデータ使用について同意します。
※同意していただける場合、口の中に✓チェックしてください。

以下のQ1～Q4の各質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

Q1 歯や口の状態について気になることはありますか？
1. ない
2. ある
「2. ある」と回答した方に伺います。
気になることとして当てはまるものはどれですか？(複数回答可)
歯の症状 → [1. 痛い 2. 冷たいものや熱いものがしみる]
歯ぐきの症状 → [3. 痛い 4. はれている 5. 歯をみがくと血が出る]
口の機能 → [6. 噛めないものがある 7. 飲み込みにくい 8. 口がかかわく]
その他 → [9. 口臭がある 10. その他(具体的に)]

Q2 歯をみがく頻度はどれくらいですか？(歯が全くない人は回答不要です。)
毎日みがく(1. 1回 2. 2回 3. 3回以上) 4. とときみがく 5. みがかない

Q3 (歯ブラシを用いた歯みがきに加えて、)以下の歯や口の清掃を行っていますか？
(複数回答可)
1. デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃している
2. 舌を清掃している
3. 行っていない

Q4 あなたはこの1年間に歯科検診を受けましたか？(本調査は歯科検診に含みません。)
1. 受けた 2. 受けていない

(診査者記入欄) 以下は問診・診査時に診査者が記入してください。

医療機関名 診査日時
(予約時間) 令和5年 ()月()日
時 分

Q5 過去1年間におけるフッ化物応用の有無(複数回答可)
1. フッ化物塗布 2. フッ化物洗口 3. フッ化物配合歯磨剤の使用 4. ない 5. わからない

Q6 矯正歯科治療の経験の有無(3歳以上の者)
1. 現在、治療を受けている 2. 過去に治療を受けたことがある 3. ない

Q7 歯科医療機関の来院の主な目的(いずれか1つ選択して下さい。)
1. 歯科治療 2. 定期健診 3. 歯科健康診査(自治体の健診等)

【歯・補綴の状況】

永久歯 上顎

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
(右) 乳歯								(左)							
E D C B A A B C D E								E D C B A A B C D E							

永久歯 下顎

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【歯の状況】
健全歯: /
未冠歯: /
歯冠部のう蝕: C (30歳以上)
※両方にある場合は、C C (と併記)
知覚歯: O (充填・クラウン等)
抜失歯: △
インプラント: Im (埋入部に記載)

【補綴の状況】
補綴部の範囲と記号を記載
全部床義歯: PD
部分床義歯: PD
架工義歯: Br

【歯肉の状況】

18	17	16	15	14	13	12	11	21	22	23	24	25	26	27	28
出血															
PD															

出血: なし=0、あり=1、測定不可能=M、歯が喪失=X

歯周ポケット(PD): 各歯の最大歯周ポケット深さ(mm)を記入、
測定不可能=M、歯が喪失=X

※歯石沈着が認められる場合は、歯周ポケットの数字を○か□で囲む

図 1. 本調査に用いた調査票

表 1. 平成 27 年平滑化人口と本調査の被調査者の数及び割合

年齢階級 (歳)	基準人口 構成比 (%)	被調査者	
		人数 (人)	割合 (%)
総数	100.0	6198	100.0
0	0.8		
1~4	3.2		
5~9	4.3		
10~14	4.6		
15~19	4.8		
20~24	5.1	307	5.0
25~29	5.4	362	5.8
30~34	5.7	328	5.3
35~39	5.9	423	6.8
40~44	6.2	342	5.5
45~49	6.5	495	8.0
50~54	6.7	471	7.6
55~59	7.0	438	7.1
60~64	7.3	434	7.0
65~69	7.4	476	7.7
70~74	6.3	522	8.4
75~79	5.0	453	7.3
80~84	3.8	699	11.3
85~89	2.5	311	5.0
90~94	1.2	129	2.1
95~99	0.3	8	0.1

答した者の割合は 40 歳以上 70 歳未満の年齢階級で高かった。口の機能で、「噛めないものがある」と回答した者の割合は 60 歳以上 65 歳未満の年齢階級で 10%を超え、その後の年齢階級でも高値を示した。「口がかわく」と回答した者の割合は 80 歳以上 90 歳未満の年齢階級で高く、「口臭がある」と回答した者の割合は 35 歳以上 75 歳未満の年齢階級で高かった（表 2、図 2）。

2. 歯をみがく頻度

20 歳以上の者では、毎日歯をみがく者の割合は 98.7%であった。また、毎日 2 回以上歯をみがく者の割合は 87.3%であった（表 3、図 3）。

3. 歯や口の清掃状況

デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃している者の割合は 60.4%、舌を清掃している者の割合は 23.0%であった。25 歳以上 85 歳未満の年齢階級で 5 割以上の者がデンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃していた（表 4、図 4）。

4. 歯科検診の受診状況

「この 1 年間に歯科検診を受けましたか？」という質問に「受けた」と回答した者の割合は 71.4%であった。

男女別に見るとほぼすべての年代で女性の方が歯科検診を受けている者の割合が高かった（表 5、図 5）。

5. フッ化物応用の有無

過去 1 年間にフッ化物塗布の経験がある者の割合は 16.4%、フッ化物洗口の経験がある者の割合は 2.6%、フッ化物配合歯磨剤の使用の経験がある者の割合は 43.3%であった（表 6、図 6）。

6. 矯正歯科治療の経験の有無

矯正歯科治療の経験がある者の割合は 8.2%であった。

20 歳以上 50 歳未満の年齢階級で 10%を超えていた（表 7、図 7）。

7. 歯科医療機関の来院の主な目的

歯科医療機関の来院の主な目的は、「歯科治療」と回答した者の割合が 53.0%、「定期健診」と回答した者の割合が 45.5%、「歯科健康診査（自治体の健診等）」が 1.5%であった（表 8、図 8）。

8. 歯根面う蝕（未処置歯）の状況

歯根面う蝕（未処置歯）を持つ者の割合は、高齢になるにつれ増加しており、60~64 歳の年齢階級以上では 5%を超えていた（表 9、図 9）。また、30 歳以上で年齢調整した歯根面う蝕（未処置歯）を持つ者の割合は 5.0%、60 歳以上で年齢調整した歯根面う蝕（未処置歯）を持つ者の割合は 7.2%であった。

表 2. 歯や口の状態、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	割合 (%)											
		ない	ある										
			総数	歯の症状		歯ぐきの症状			口の機能			その他	
				痛い	冷たい ものや 熱いもの がしみる	痛い	はれて いる	歯を みがくと 血がでる	噛めない ものがある	飲み込み にくい	口が かわく	口臭 がある	その他
総数	6,179	41.1	58.9	9.9	14.9	5.8	8.7	12.1	9.9	1.2	6.8	8.7	13.0
20～24	306	44.4	55.6	11.8	21.6	2.3	4.2	9.8	1.6	0.3	1.6	4.9	17.3
25～29	362	39.2	60.8	11.9	21.8	5.0	7.5	13.5	0.8	0.3	4.1	7.7	16.6
30～34	326	38.0	62.0	13.8	19.3	4.6	8.0	12.6	3.1	0.6	4.0	8.0	14.1
35～39	422	42.9	57.1	10.7	20.4	2.6	6.2	14.7	1.4	0.9	4.0	10.0	10.9
40～44	341	35.5	64.5	11.4	25.2	4.4	10.3	14.1	2.6	0.0	4.4	9.1	14.7
45～49	495	36.0	64.0	12.1	21.0	5.1	10.7	16.0	6.3	1.2	4.8	10.1	16.6
50～54	469	36.9	63.1	8.1	18.1	4.5	9.8	17.5	6.8	1.1	7.2	13.0	13.4
55～59	438	34.0	66.0	11.0	20.5	5.9	11.0	16.9	9.6	0.7	5.5	11.6	12.6
60～64	432	39.4	60.6	8.8	13.4	4.2	10.6	11.8	12.3	0.7	6.7	9.0	16.4
65～69	474	43.0	57.0	6.3	13.3	5.9	10.3	13.5	15.8	1.1	7.4	10.3	11.4
70～74	522	47.5	52.5	7.3	9.6	5.0	8.6	10.5	13.8	1.1	8.4	11.9	8.4
75～79	450	43.6	56.4	9.1	9.8	7.8	7.8	8.7	18.2	3.3	7.8	7.3	10.0
80～84	697	45.6	54.4	9.9	5.2	8.9	8.3	7.9	16.2	2.2	12.6	4.0	10.6
85～89	308	44.8	55.2	9.7	2.9	11.4	7.1	4.9	17.5	2.6	10.7	5.8	12.7
90～94	129	44.2	55.8	9.3	2.3	12.4	7.0	1.6	17.8	1.6	7.0	4.7	13.2
95～99	8	25.0	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	37.5

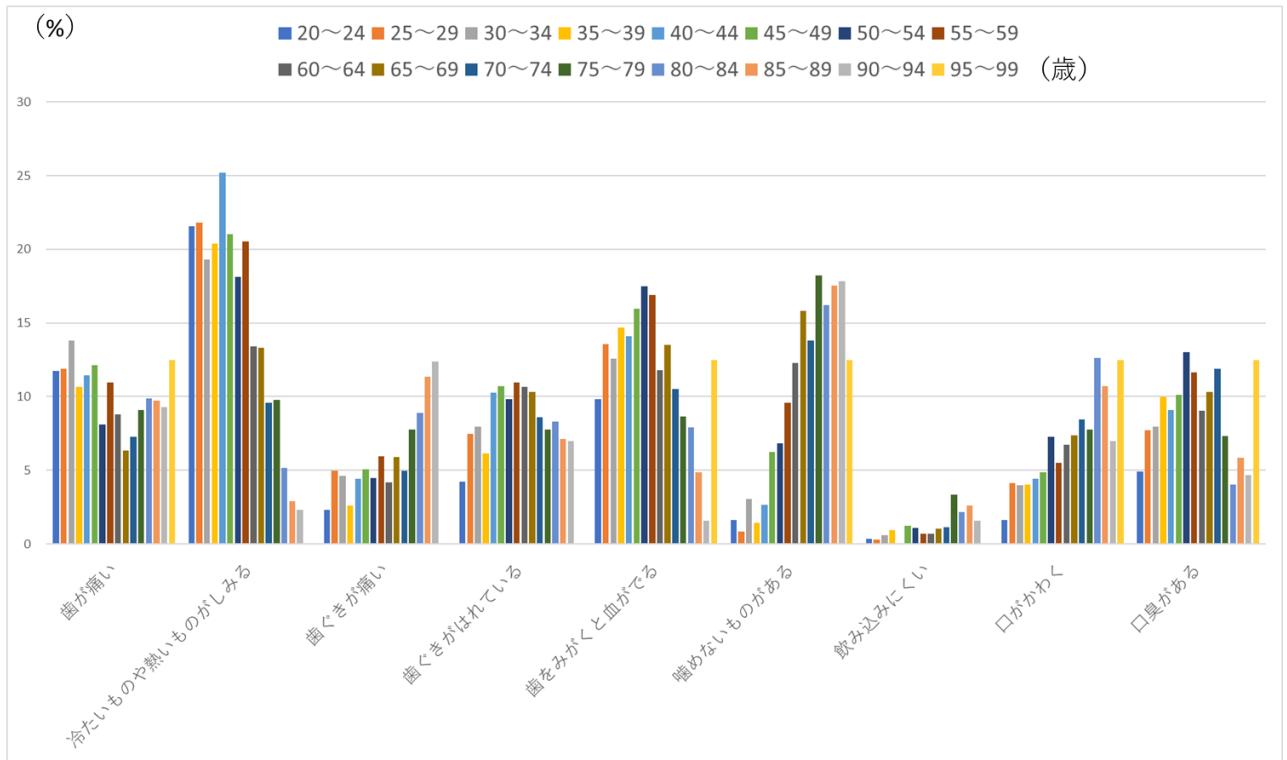
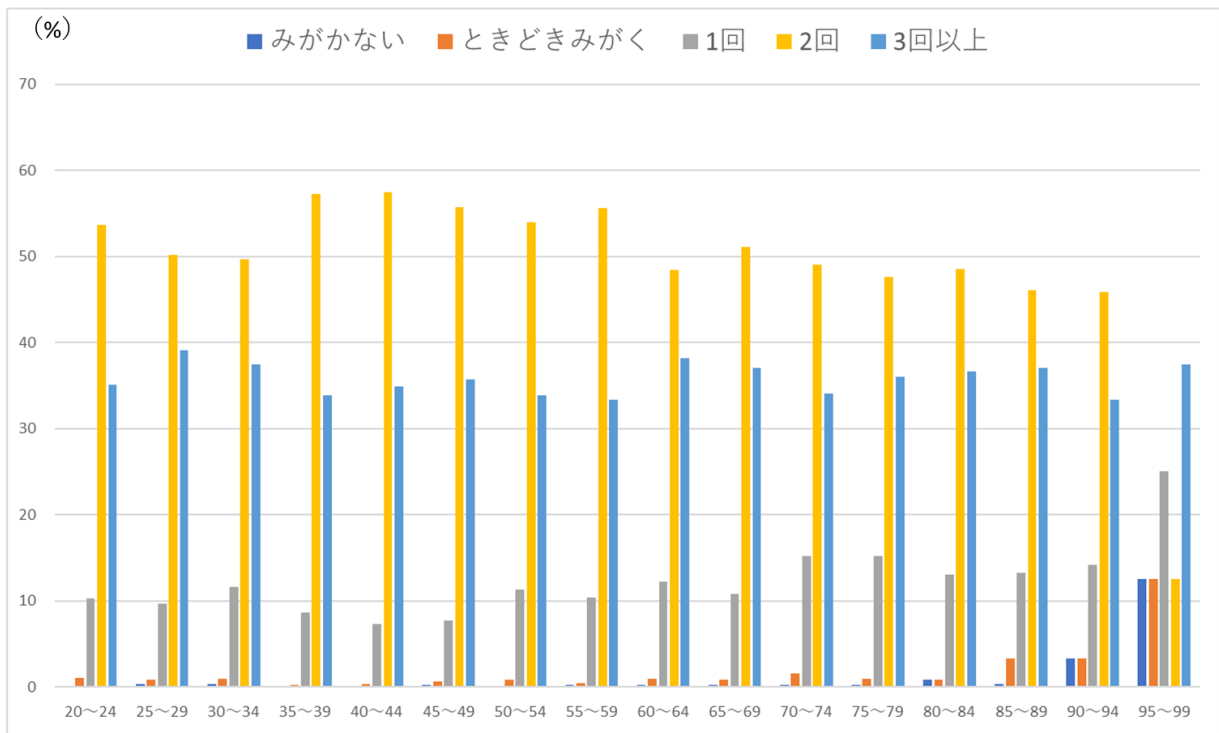


図 2. 歯や口の状態、年齢階級別

表 3. 歯をみがく頻度、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)							割合 (%)						
		みがかない	ときどき みがく	毎日 (総数)	1回	2回	3回以上	(再掲) 毎日2回 以上	みがかない	ときどき みがく	毎日 (総数)	1回	2回	3回以上	(再掲) 毎日2回 以上
総数	6,129	20	61	6,048	700	3,155	2,193	5,348	0.3	1.0	98.7	11.4	51.5	35.8	87.3
20～24	302	0	3	299	31	162	106	268	0.0	1.0	99.0	10.3	53.6	35.1	88.7
25～29	361	1	3	357	35	181	141	322	0.3	0.8	98.9	9.7	50.1	39.1	89.2
30～34	326	1	3	322	38	162	122	284	0.3	0.9	98.8	11.7	49.7	37.4	87.1
35～39	419	0	1	418	36	240	142	382	0.0	0.2	99.8	8.6	57.3	33.9	91.2
40～44	341	0	1	340	25	196	119	315	0.0	0.3	99.7	7.3	57.5	34.9	92.4
45～49	495	1	3	491	38	276	177	453	0.2	0.6	99.2	7.7	55.8	35.8	91.5
50～54	469	0	4	465	53	253	159	412	0.0	0.9	99.1	11.3	53.9	33.9	87.8
55～59	435	1	2	432	45	242	145	387	0.2	0.5	99.3	10.3	55.6	33.3	89.0
60～64	432	1	4	427	53	209	165	374	0.2	0.9	98.8	12.3	48.4	38.2	86.6
65～69	472	1	4	467	51	241	175	416	0.2	0.8	98.9	10.8	51.1	37.1	88.1
70～74	520	1	8	511	79	255	177	432	0.2	1.5	98.3	15.2	49.0	34.0	83.1
75～79	447	1	4	442	68	213	161	374	0.2	0.9	98.9	15.2	47.7	36.0	83.7
80～84	680	6	6	668	89	330	249	579	0.9	0.9	98.2	13.1	48.5	36.6	85.1
85～89	302	1	10	291	40	139	112	251	0.3	3.3	96.4	13.2	46.0	37.1	83.1
90～94	120	4	4	112	17	55	40	95	3.3	3.3	93.3	14.2	45.8	33.3	79.2
95～99	8	1	1	6	2	1	3	4	12.5	12.5	75.0	25.0	12.5	37.5	50.0



(歳)

図 3. 歯をみがく頻度、年齢階級別

表 4. 歯や口の清掃状況、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)			割合 (%)		
		デンタルフロス や歯間ブラシ	舌を清掃 している	行って いない	デンタルフロス や歯間ブラシ	舌を清掃 している	行って いない
総数	6,116	3,697	1,404	1,947	60.4	23.0	31.8
20～24	304	127	92	130	41.8	30.3	42.8
25～29	359	187	109	125	52.1	30.4	34.8
30～34	326	193	96	99	59.2	29.4	30.4
35～39	419	262	109	120	62.5	26.0	28.6
40～44	338	209	93	104	61.8	27.5	30.8
45～49	493	319	113	136	64.7	22.9	27.6
50～54	468	303	96	132	64.7	20.5	28.2
55～59	434	289	95	115	66.6	21.9	26.5
60～64	429	284	82	127	66.2	19.1	29.6
65～69	472	325	83	124	68.9	17.6	26.3
70～74	516	348	105	142	67.4	20.3	27.5
75～79	442	262	94	152	59.3	21.3	34.4
80～84	684	387	158	242	56.6	23.1	35.4
85～89	302	149	54	133	49.3	17.9	44.0
90～94	123	49	25	63	39.8	20.3	51.2
95～99	7	4	0	3	57.1	0.0	42.9

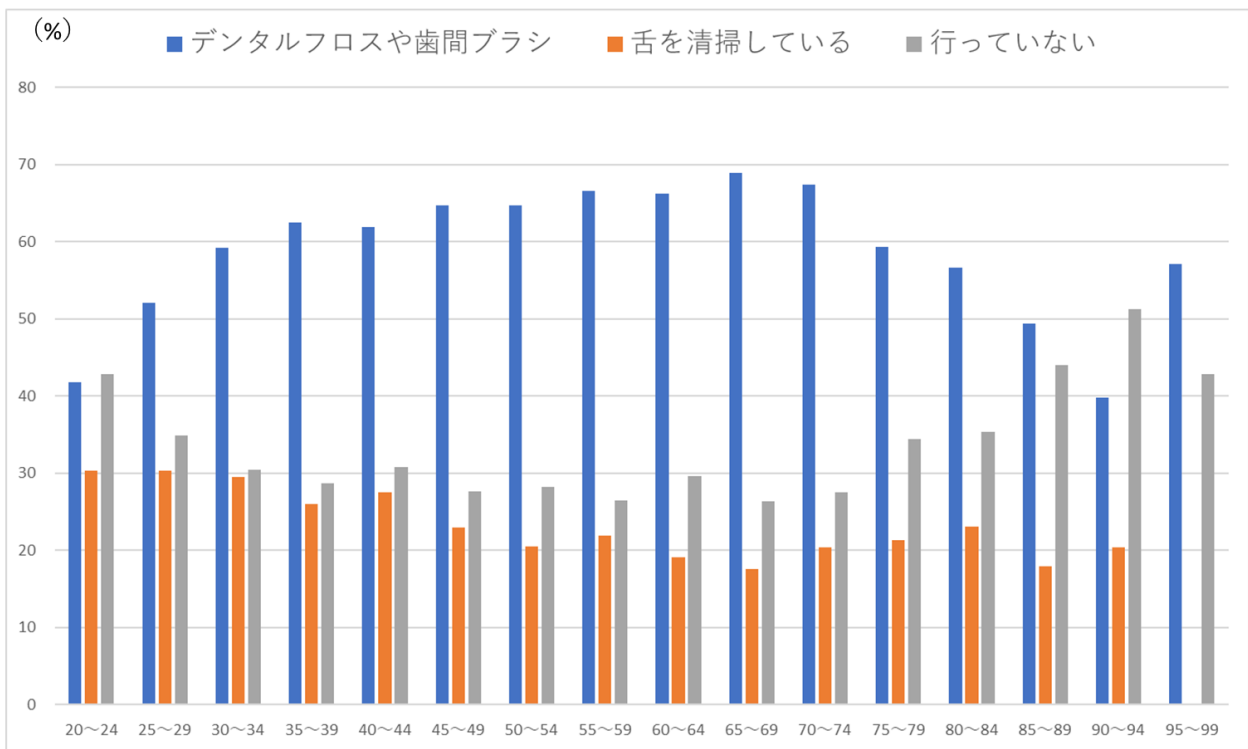


図 4. 歯や口の清掃状況、年齢階級別

(歳)

表 5. 歯科検診の受診状況、性・年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)			割合 (%)		
		男	女	総数	男	女	総数
総数	6,150	1,756	2,637	4,393	69.2	73.0	71.4
20～24	305	66	129	195	63.5	64.2	63.9
25～29	362	91	136	227	60.3	64.5	62.7
30～34	327	90	129	219	67.2	66.8	67.0
35～39	419	103	178	281	63.6	69.3	67.1
40～44	337	84	128	212	60.4	64.6	62.9
45～49	495	114	202	316	57.0	68.5	63.8
50～54	468	128	197	325	67.4	70.9	69.4
55～59	434	116	195	311	63.0	78.0	71.7
60～64	431	133	190	323	70.4	78.5	74.9
65～69	472	161	213	374	78.9	79.5	79.2
70～74	517	174	236	410	80.2	78.7	79.3
75～79	444	158	186	344	76.7	78.2	77.5
80～84	696	220	319	539	75.3	79.0	77.4
85～89	307	82	145	227	72.6	74.7	73.9
90～94	128	33	51	84	66.0	65.4	65.6
95～99	8	3	3	6	75.0	75.0	75.0

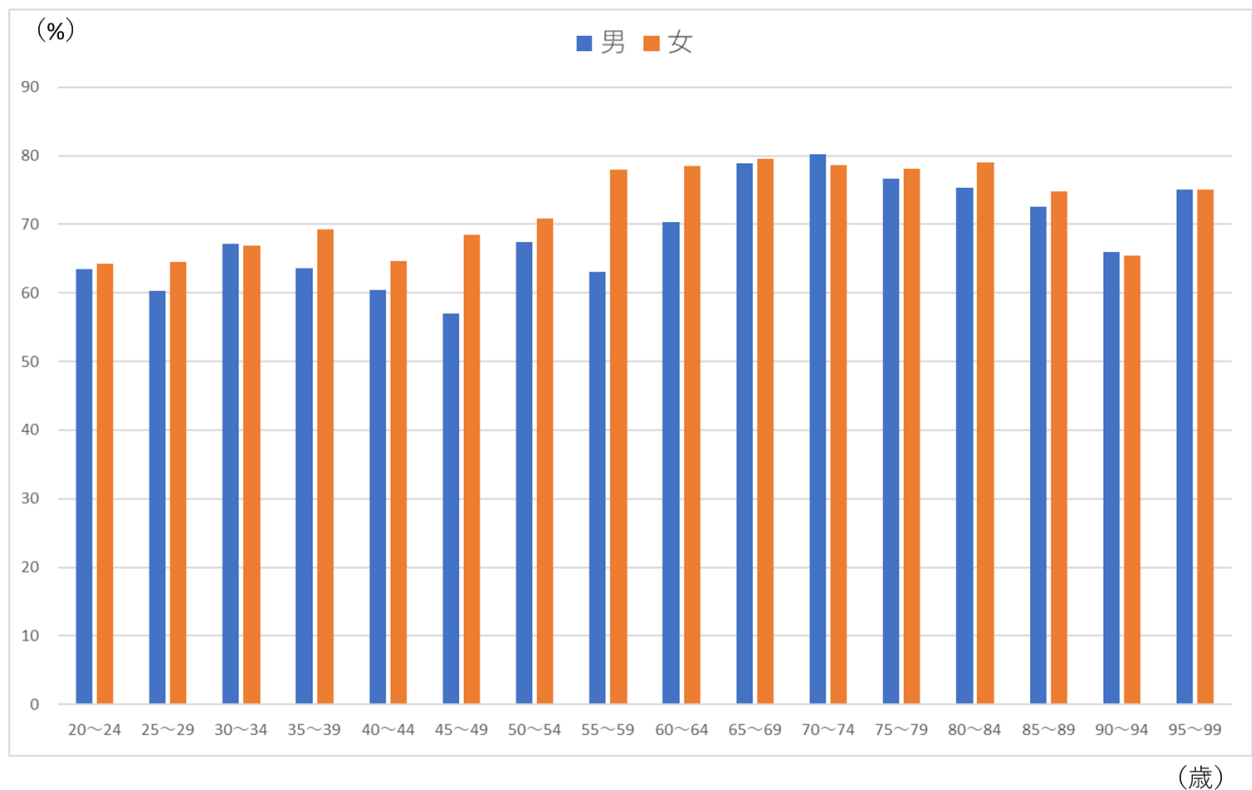


図 5. 歯科検診の受診状況、性・年齢階級別

表 6. フッ化物応用の有無、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)					割合 (%)				
		フッ化物塗布	フッ化物洗口	フッ化物配合 歯磨剤の使用	ない	わからない	フッ化物塗布	フッ化物洗口	フッ化物配合 歯磨剤の使用	ない	わからない
総数	6,113	1,001	160	2,645	2,100	729	16.4	2.6	43.3	34.4	11.9
20～24	304	58	5	135	94	39	19.1	1.6	44.4	30.9	12.8
25～29	358	59	10	174	108	41	16.5	2.8	48.6	30.2	11.5
30～34	323	62	13	156	85	45	19.2	4.0	48.3	26.3	13.9
35～39	418	62	11	197	134	45	14.8	2.6	47.1	32.1	10.8
40～44	341	48	11	161	109	43	14.1	3.2	47.2	32.0	12.6
45～49	489	74	19	231	156	55	15.1	3.9	47.2	31.9	11.2
50～54	458	68	11	220	157	40	14.8	2.4	48.0	34.3	8.7
55～59	433	61	8	192	140	63	14.1	1.8	44.3	32.3	14.5
60～64	428	62	13	192	146	52	14.5	3.0	44.9	34.1	12.1
65～69	470	87	10	209	157	46	18.5	2.1	44.5	33.4	9.8
70～74	517	91	12	204	191	61	17.6	2.3	39.5	36.9	11.8
75～79	448	70	15	164	183	46	15.6	3.3	36.6	40.8	10.3
80～84	690	121	11	274	254	92	17.5	1.6	39.7	36.8	13.3
85～89	303	59	8	97	123	44	19.5	2.6	32.0	40.6	14.5
90～94	127	19	3	39	58	16	15.0	2.4	30.7	45.7	12.6
95～99	6	0	0	0	5	1	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7

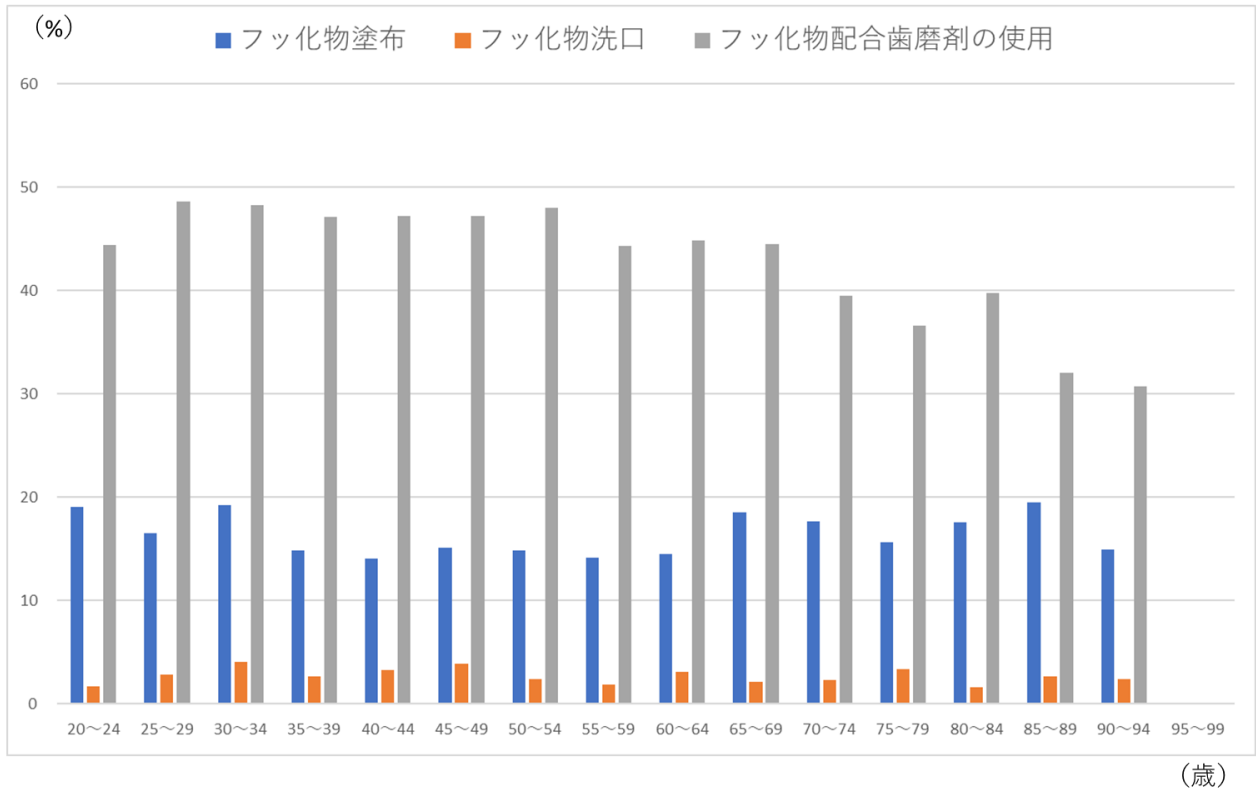


図 6. 各種フッ化物応用の経験がある者の割合、年齢階級別

表 7. 矯正歯科治療の経験の有無、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)			割合 (%)		
		現在、治療を 受けている	過去に治療を 受けたことがある	ない	現在、治療を 受けている	過去に治療を 受けたことがある	ない
総数	6,093	129	372	5,592	2.1	6.1	91.8
20～24	300	30	39	231	10.0	13.0	77.0
25～29	356	19	39	298	5.3	11.0	83.7
30～34	321	11	52	258	3.4	16.2	80.4
35～39	417	9	53	355	2.2	12.7	85.1
40～44	338	5	39	294	1.5	11.5	87.0
45～49	489	18	40	431	3.7	8.2	88.1
50～54	461	4	30	427	0.9	6.5	92.6
55～59	428	9	22	397	2.1	5.1	92.8
60～64	426	3	18	405	0.7	4.2	95.1
65～69	470	5	13	452	1.1	2.8	96.2
70～74	517	3	10	504	0.6	1.9	97.5
75～79	443	2	5	436	0.5	1.1	98.4
80～84	690	6	6	678	0.9	0.9	98.3
85～89	301	4	5	292	1.3	1.7	97.0
90～94	129	1	1	127	0.8	0.8	98.4
95～99	7	0	0	7	0.0	0.0	100.0

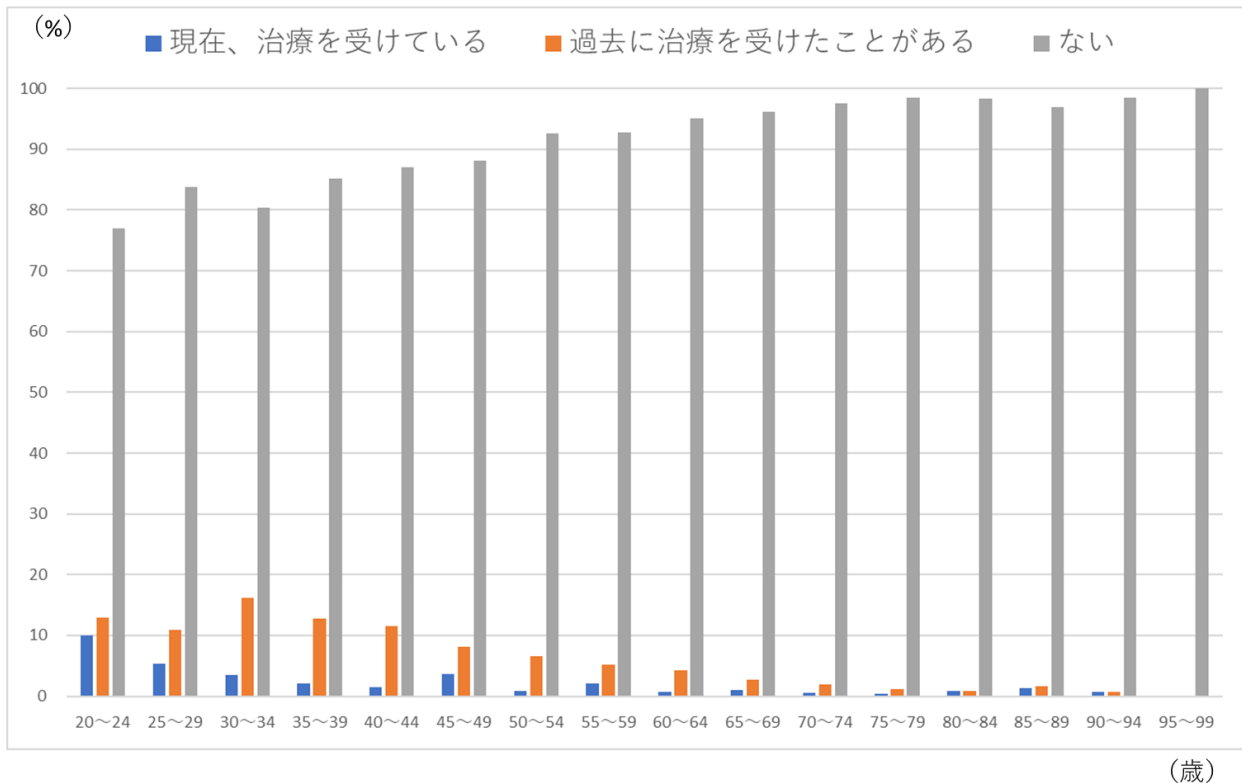
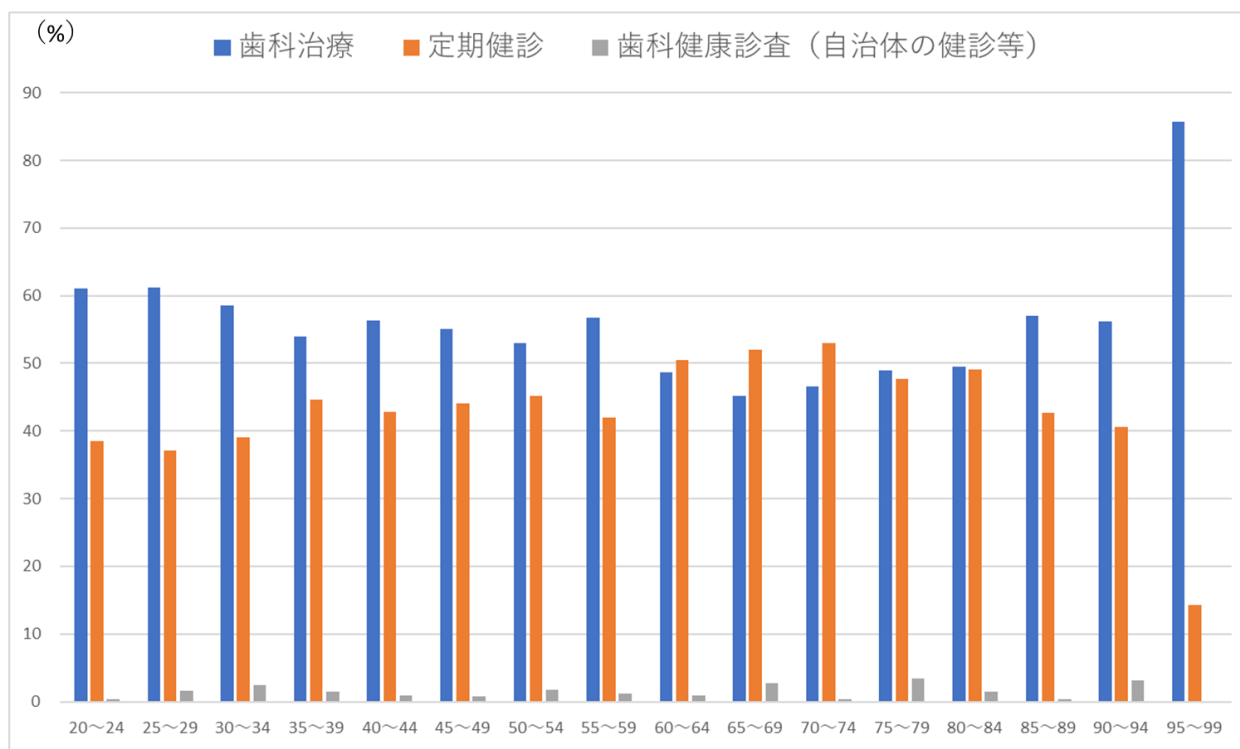


図 7. 矯正歯科治療の経験の有無、年齢階級別

表 8. 歯科医療機関の来院の主な目的、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)			割合 (%)		
		歯科治療	定期健診	歯科健康診査 (自治体の健診等)	歯科治療	定期健診	歯科健康診査 (自治体の健診等)
総数	6,123	3,247	2,786	90	53.0	45.5	1.5
20～24	301	184	116	1	61.1	38.5	0.3
25～29	358	219	133	6	61.2	37.2	1.7
30～34	323	189	126	8	58.5	39.0	2.5
35～39	417	225	186	6	54.0	44.6	1.4
40～44	339	191	145	3	56.3	42.8	0.9
45～49	490	270	216	4	55.1	44.1	0.8
50～54	462	245	209	8	53.0	45.2	1.7
55～59	433	246	182	5	56.8	42.0	1.2
60～64	430	209	217	4	48.6	50.5	0.9
65～69	471	213	245	13	45.2	52.0	2.8
70～74	519	242	275	2	46.6	53.0	0.4
75～79	447	219	213	15	49.0	47.7	3.4
80～84	693	343	340	10	49.5	49.1	1.4
85～89	305	174	130	1	57.0	42.6	0.3
90～94	128	72	52	4	56.3	40.6	3.1
95～99	7	6	1	0	85.7	14.3	0.0



(歳)

図 8. 歯科医療機関の来院の主な目的、年齢階級別

表 9. 歯根面う蝕（未処置歯）を持つ者の数及び割合、性・年齢

		人数(人)			割合(%)	
		総数	根面部う蝕なし	根面部う蝕あり	根面部う蝕なし	根面部う蝕あり
総数	総数	6,198	5,893	305	95.1	4.9
	20～24歳	307	307	0	100.0	0.0
	25～29歳	362	362	0	100.0	0.0
	30～34歳	328	325	3	99.1	0.9
	35～39歳	423	419	4	99.1	0.9
	40～44歳	342	329	13	96.2	3.8
	45～49歳	495	474	21	95.8	4.2
	50～54歳	471	454	17	96.4	3.6
	55～59歳	437	417	20	95.4	4.6
	60～64歳	434	412	22	94.9	5.1
	65～69歳	476	441	35	92.6	7.4
	70～74歳	522	494	28	94.6	5.4
	75～79歳	453	411	42	90.7	9.3
	80～84歳	699	647	52	92.6	7.4
85歳以上	448	401	47	89.5	10.5	
男性	総数	2,558	2,430	128	95.0	5.0
	20～24歳	105	105	0	100.0	0.0
	25～29歳	151	151	0	100.0	0.0
	30～34歳	135	134	1	99.3	0.7
	35～39歳	163	162	1	99.4	0.6
	40～44歳	141	138	3	97.9	2.1
	45～49歳	200	194	6	97.0	3.0
	50～54歳	192	181	11	94.3	5.7
	55～59歳	186	175	11	94.1	5.9
	60～64歳	189	178	11	94.2	5.8
	65～69歳	205	187	18	91.2	8.8
	70～74歳	219	212	7	96.8	3.2
	75～79歳	209	192	17	91.9	8.1
	80～84歳	294	271	23	92.2	7.8
85歳以上	169	150	19	88.8	11.2	
女性	総数	3,639	3,463	176	95.2	4.8
	20～24歳	202	202	0	100.0	0.0
	25～29歳	211	211	0	100.0	0.0
	30～34歳	193	191	2	99.0	1.0
	35～39歳	260	257	3	98.8	1.2
	40～44歳	201	191	10	95.0	5.0
	45～49歳	295	280	15	94.9	5.1
	50～54歳	279	273	6	97.8	2.2
	55～59歳	252	242	10	96.0	4.0
	60～64歳	245	234	11	95.5	4.5
	65～69歳	271	254	17	93.7	6.3
	70～74歳	303	282	21	93.1	6.9
	75～79歳	244	219	25	89.8	10.2
	80～84歳	405	376	29	92.8	7.2
85歳以上	279	251	28	90.0	10.0	

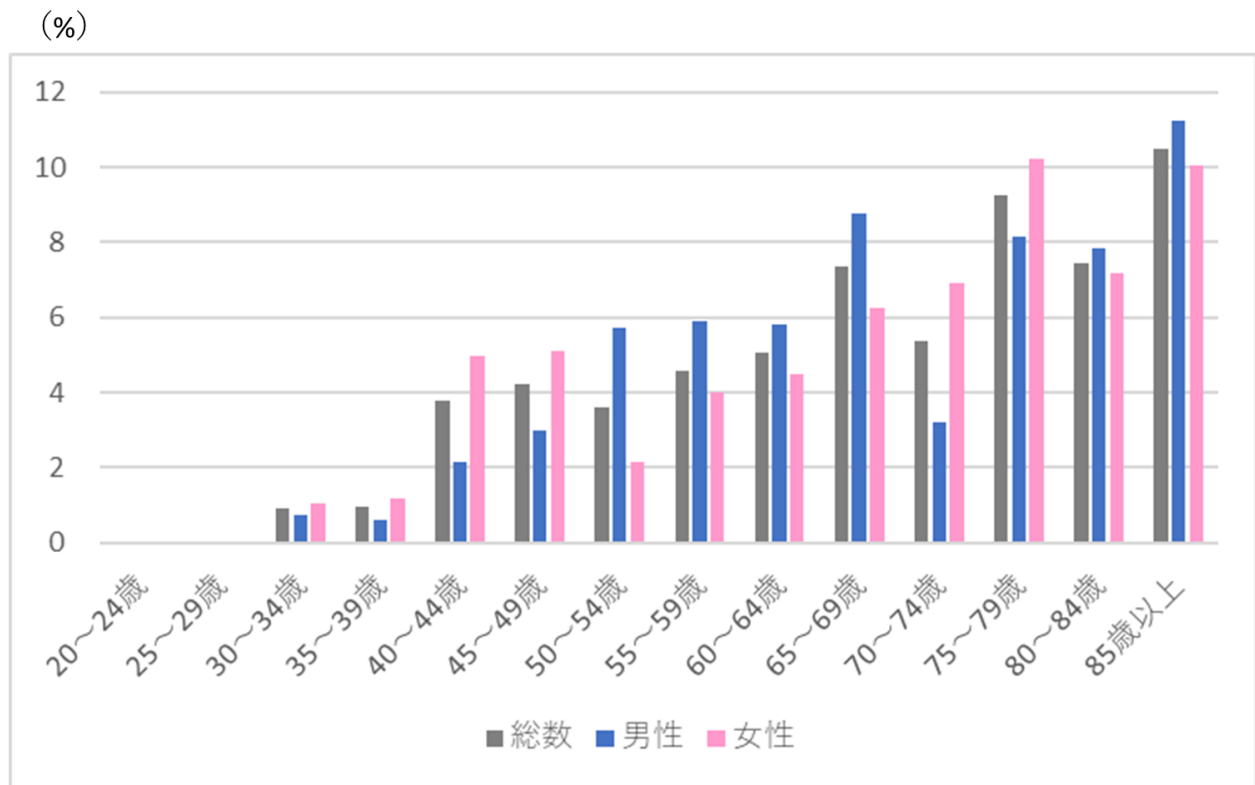


図9. 歯根面う蝕（未処置歯）を持つ者の数及び割合、性・

D. 考察

今回の歯科診療所の受診患者を対象とした調査から、令和3年度に中止となった歯科疾患実態調査の代替として、現行の基本的事項の評価項目の最終評価に使用可能な値が、ある一定の精度で得られたと考える。その理由として、過去の調査等から歯科診療所受診患者を対象とした調査での回答率は45%程度に留まると考えられたが、65%と予想を2割も超える回答が得られたことがまず挙げられる。また、本調査対象は全国からのサンプリングであり、表1に示すように回答者の年齢階級の構成比については、後期高齢者を除けばおおむね基準人口に近い値が得られ、むしろ歯科疾患実態調査よりも近似度は高いように観察され、一般化可能性についてはある程度許容できると考える。一方で、歯科疾患実態調査の対象が国民生活基礎調査の調査区に設定された単位区から無作為に抽出された単位区内の世帯員であることと比べると、本調査対象の歯科診療所の受診患者は母集団の特性が異なると考えられる。しかし、近年の調査研究では、国民の約半数以上が過去1年以内に歯科医院を受診したことがあるという報告³⁾もあり、歯科診療所の受診患者が一般住民と必ずしもかけ離れた特性を持つとは限らない現況もうかがえる。

歯科診療所の受診患者を対象とした本研究では、60～64歳の年齢階級以上では歯根面う蝕(未処置歯)を持つ者の割合が5%を超えていた。本結果は、基本的事項の最終評価を補足するためのデータや次期計画策定の際に活用可能なデータと考えられる。今後、本研究の結果と令和4年に実施された歯科疾患実態調査の結果との比較により、パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な本研究の調査手法が、歯科疾患実態調査に代わる調査手法となり得るかを検討する必要がある。

E. 結論

質問項目と歯根面う蝕(未処置歯)の評価の観点からは、パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。

F. 引用文献

- 1) 第16回 歯科口腔保健の推進に関する専門委員会. 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次)における目標・指標(案).
<https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/001056282.pdf>.
(2023年3月23日アクセス)
- 2) 基準人口の改訂に向けた検討会. 基準人口の改訂に係る検討結果の報告について.
<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/000638712.pdf>.
(2023年3月23日アクセス)
- 3) 公益財団法人8020推進財団. 平成27年度調査研究事業「一般住民を対象とした歯・口腔の健康に関する調査研究」報告書.
https://www.8020zaidan.or.jp/pdf/h27_Residents_Survey_Report.pdf.
(2023年3月23日アクセス)

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

